

2022 年 1 月 29 日

2022 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

病院に勤務する看護師のメンタルヘルスケアの実態と課題に関する
インタビュー調査
Interview Survey on the Actual Situation and Issues of
Mental Health Care for Nurses

20MN031

六反里菜

論文要旨

目的

本研究は、病院に勤務する看護師を対象にインタビュー調査を行い、看護師のメンタルヘルスケアに関する実態および課題について、明らかにすることを目的とする。

研究方法

病院に勤務する看護師 4 名に、メンタルヘルスケアに関する半構造的インタビューを行い、質的記述的に分析した。分析の過程では、教員より指導を受け、信頼性を確保した。倫理的な配慮として、研究への協力は自由であり、協力せずとも不利益が生じない旨を文章及び口頭で説明し同意を得た。尚、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得た（承認番号 21-A062）

結果

メンタルヘルスケアの実態は、2つのコアカテゴリ（『心身の不調を感じた際に自分なりの対処をしている』『心身の不調や悩みがある際に、病院や病棟からの支援がある』）と、7つのカテゴリ【上司や同期、家族など周囲の人に大変さを共有したり対応について相談する】【ストレスや心身の不調には自分で対応をする】【部署内外で上司によるスタッフのモチベーション維持のための支援がある】【法律に基づくストレスチェックの実施と産業医による相談対応がある】【病院独自のメンタルヘルスケアのための教育や、相談窓口の設置と周知方法がある】【病棟独自での全体で話せる場の設置や柔軟な勤務調整が行われている】【スタッフ間で気遣う雰囲気や協力体制がある】）、19のサブカテゴリで構成されていた。

メンタルヘルスケアの課題は、3つのカテゴリ（【悩みを話せる機会やアクセスしやすい環境が必要】【上司や同僚とは異なった産業保健師等のニーズがある】【病院全体としてスタッフのメンタルヘルスのための対応に不足を感じる】）と14のサブカテゴリで構成されていた。

結論

病院で勤務する看護師は、心身の不調や悩みがある際に自分なりに対処し、また、病院や病棟からの支援を受けていることが示された。セルフケア能力には個人差があることが懸念されるため、個人の経験や能力に依拠しない方法が必要であると考えられる。そのため、組織的なメンタルヘルスケアやセルフケア能力を高める体系的な教育体制等が必要であることが考察された。また、職場からの支援では、病院が組織的に行っているストレスチェックや、病棟の管理者が行っている働きやすい職場環境の調整や声掛けがあることが示された。一方で、メンタルヘルスケアの課題では、病院や病棟が行うメンタルヘルスケアが、十分に行われていないことも語られた。病院や病棟では、そこで働く看護師のためにメンタルヘルスケアを行える環境を提供しているものの、看護師がその活用方法を十分に理解できていないという、提供する側と活用する側に認識の違いがあることが明らかになった。そのため、インタビューでも語られたように、メンタルヘルスケアの環境を提供する側と活用する側の調整役となるような産業看護職の存在の必要性も示唆された。